

ペットボトル稲 準備

SUNS資料

「ペットボトル稲

種まきマニュアル」

福岡教育大学 平尾健二

準備：

種籾を消毒・浸水（種まきの4日位前）

もみを容器（タッパー等）に入れて、消毒液（ベンレート1000倍）につけて一晩置く。

（ベンレート500倍液は0.5gのベンレートを500mLのペットボトルに入れて、水を500mL加えてキャップをしてよく振れば出来上がり。）

その後、毎日水を取り替えながら（3日程度）常温におく

鳩胸状態（2ミリくらい芽がでる）が蒔きごろ（右図）。早く出すぎた場合は、冷蔵庫に保管する（一時停止）

種まき：

育苗用の土を使うのがベター

（農協に売っている黒粒培土，すいとう培土等）

適当な容器（プリンカップ等）に深さ1cmくらい（底に穴が一つ以上必要）

土をいれて、重ならないように種籾をまく。5～10粒程度。

5ミリくらい土をかけて、芽が出るまで暗いところにおく

スズメがいるところは、種もみが見えないように、土をかける。

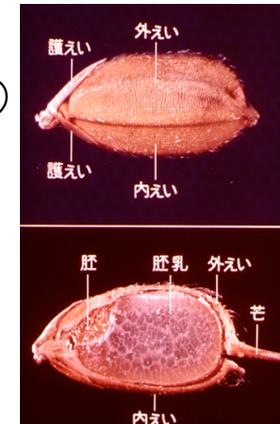
スズメに見つかりと、ほじくられて食べられます。

育苗：

芽が出たら、水を多めに与えながら、外に出して、しっかり太陽の光を当てて、苗を育てる（3週間程度）。室内（教室、廊下）では、絶対に育ちません。

種まきから田植えまで約3～4週間 育苗期間3～4週間

イネ種子の構造



ハト胸状態

